



教職支援室によるこそ

4 月 号
平成25年4月9日 (火)

『先生になりたい』
その夢を全力で支援します。



教職支援室の山本です。

教職支援室では、教員採用選考試験対策に力を入れ、毎年県内外に正規採用教員を輩出しています。また、教育実習以外にも数多くの学校現場での体験の機会を提供しています。

これから月1回、**教員採用選考試験に関する情報**や**選考試験に向けて頑張っている学生・既卒者の様子**をお知らせします。

本学卒業生13名 公立学校正教員に!!

4月1日(月)、本学卒業生13名が公立学校の新規採用教員として教壇に立ちました。平成24年に実施された公立学校教員採用選考試験の合格者は、下記の通りです。競争率が高い中、現役生2名が2都県(宮崎県と東京都、宮崎県と奈良県)に合格しました。

大躍進!!

宮崎県中学校英語

合格者9名中5名が本学の現役・既卒者 現役合格は本学の2名のみ

○13名(延べ15名) = 現役4名(延べ6名) + 既卒9名(延べ9名)

【中学英語】

宮崎県5名(現役2名、既卒3名)、奈良県1名(現役1名)、愛知県2名(現役1名、既卒1名)
千葉県1名(現役1名)、鹿児島県1名(既卒1名)、佐賀県1名(既卒1名)、神奈川県1名(既卒1名)

【高校英語】

熊本県1名(既卒1名)、東京都2名(現役1名、既卒1名：東京都は中高共通で合格)

※既卒者については把握分のみ。臨時的任用講師・非常勤講師は含まない。

● 過去5年間の公立学校教員採用選考試験合格者数

過去5年間の採用選考試験の合格者数です。現役で教員採用選考試験を受験する人数は、この4年間では、卒業生のわずか5.8%です。

このような現状の中で、公立学校教員合格者がこの3年間で2桁に増加しています。また、現役での合格も増えています。

	H24年度	H23年度	H22年度	H21年度	H20年度
合格者数	13	11	14	6	7
(現役)	[4]	[5]	[2]	[2]	[3]
(既卒者)	[9]	[6]	[12]	[4]	[4]
現役受験者数	11	12	12	12	21

● これまでの教員輩出実績(平成25年4月1日現在)

本学は、1993年の開学以来、県内外に多くの教員を輩出しています。現在、157名の人が公立学校の英語教諭として採用され、各地で活躍しています。(既卒者については把握分のみ)

- 宮崎県公立学校 86名
高等学校 20名、中学校 64名、特別支援学校 1名 小学校 1名

- ・ 他県公立学校 71名
鹿児島県27名、愛知県9名、東京都5名、熊本県5名、山口県4名、佐賀県4名、千葉県3名、神奈川県3名、長崎県2名、大分県、福岡県、広島県、奈良県、滋賀県、岐阜県、神戸市、静岡県、北海道各1名

● 都道府県教育委員会 「教員募集案内」 配布開始

4月になると、各都道府県教育委員会が右のような「教員募集案内」を配布します。この「教員募集案内」には、下記の内容が掲載されています。

- ・ 目指す教師像 ・ 教育施策 ・ 先輩からのメッセージ
- ・ 教員採用に係るQ & A ・ 平成25年度選考試験の受験者数等
- ・ 新規採用者の給与 ・ 実施要項配布案内 など

※募集案内は、各都道府県教育委員会のホームページからダウンロードできます。



○ 気になる新規採用者の初任給は？（平成24年4月1日現在：教員募集案内より）

- ・ 宮崎県：大学卒 約203,000円
 - ・ 東京都：大学卒 約242,500円
- その他に通勤手当、住居手当等が支給されます。

● 採用までの流れ（宮崎県：平成25年実施）



・ 第一選考試験（平成25年実施）：現在までに把握できた都道府県



※東京都、千葉県の実施要項が発表になりました。

《東京都》

- ・ 受験申込の締切りは、電子申請の場合は5月9日(木)、郵送の場合は5月10日(金)です。
- ・ 当該教科の中学校・高等学校の両方の免許状が必要です。
- ・ 中学校・高等学校共通科目の採用見込者数は、前年度より480名減の620名で、大変厳しくなりました。

《千葉県》

- ・ 受験申込の締切りは、5月17日(金)までの消印があるものが有効です。
- ・ 当該教科の中学校・高等学校両方の免許状を有することが望ましい。いずれか一方のみの免許状を有する者も受験できます。
- ・ 採用見込者数は、4月中旬にホームページに掲載されます。

《福岡市》

- ・今回から高等学校教諭も福岡市が募集します。
高等学校教諭の試験は、県との合同実施から福岡市の実施に変更されます。

● 東京アカデミー全国公開模擬試験受験

4月4日（木）凌雲会館1階B会議室において、教員志望の4年生（15名）・科目等履修生（2名）が東京アカデミー全国公開模擬試験に臨みました。試験科目は専門試験（英語）と教職教養・一般教養の2科目です。

早いもので教員採用選考第一次試験まで後3カ月です。勉強の成果を発揮すべく真剣な眼差しで試験に臨む姿が見られました。試験が終わると教室内の表情が和らぎました。

尚、受験料は、4年生については大学と後援会から負担していただきました。



《感想》

- ・教職教養勉強会で学習した内容が出題されていた。何となく分かっているだけで、確信が持てないものばかりだった。自分の詰めの甘さを改めて実感した。（4年生）
- ・勉強会の時には、法律毎に勉強しているので段々慣れていたが、ミックスされると混乱してしまった。自分の理解していない所が分かった。（4年生）
- ・勉強が完全に不足したままでの試験であったが、自分の勉強した部分ではしっかりと点がとれていた。全体的に見て、今、自分がどの位置なのか、後、何をしなければいけないのかがはっきり分かった。（4年生）

★ 現在、教諭として勤務されている方へお願い

教員志望の後輩のために、アドバイスや学校現場の状況等をお知らせいただくと助かります。また、差し支えなければ毎月の教職支援室便りに「先輩からのメッセージ」として掲載させていただきたいと思います。

山本の研究室（教職支援室）のアドレスです。 Yamamoto-h@miyazaki-mu.ac.jp